

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成29年5月16日

議席番号 7番

東村山市議会議長 様

質問者 小林 美緒

記

番号	質問の項目と要旨
	<p>Ⅰ 「たのしむらやま」働き方改革</p>
	<p>① ワークライフバランスとは、何か。</p> <p>② ①を受けて東村山らしい、ワークライフバランスとは、何か。</p> <p>③ ワークライフバランスにおける問題点とは。</p> <p>④ 庁内での取り組みとして、今現在取り組んでいることはあるか。</p> <p>⑤ 庁内での取り組みとして、今後どのような事を検討しているか。</p> <p>⑥ 豊島区や横浜市、総務省のオフィス改革など参考事例を受けてどのように考えるか。</p> <p>⑦ 平成29年度における、ワークライフバランスの予算の詳細を伺う。</p> <p>⑧ 平成29年度4月に提出している「市内事業所及び従業員の意識・実態調査結果と今後の市の取り組みについて」の結果をどのように捉えているか。</p> <p>⑨ 女性雇用の推進がされるが、女性自身が必ずしもそれを望むわけではない。本人も周りも意識を変えていくのには何が必要か。</p> <p>⑩ 小平市のように交付金等を上手に活用した創業支援などの検討もしているか。</p> <p>⑪ 少子高齢化時代「後継者難」と言われる時代、日本の誇るモノづくりが衰退していくことは日本経済にとってもマイナスである。事業継承の支援もしていくべきと考えるがいかがか。</p> <p>⑫ 働くことの大切さの気付きや事業継承のキモは、教育にあると考えるがいかがか。また、学校教育の中でそのような取り組みはしているか。</p> <p>⑬ 市内に「TOKYO 働き方改革宣言」をしている企業はあるか。</p> <p>⑭ シェアオフィスやコワーキングスペース、テレワーク、チャットワークなど新しい形での働き方の必要性が出てきている。今後、庁内を含む市内の働く場所が働きやすくなることが期待される。市として、どのような事をしていけると考えているか。</p> <p>⑮ 専門家を派遣し、人員の増員ありきでなく解決を図っている自治体もあるがどう考えるか。</p> <p>⑯ 「ワークライフバランス」「働き方改革」などを受け、今ある企業を大切にすることはもちろんだが、今後市内での起業やスタートアップを望むにあたって、市長の考える人材と呼ぶワークスタイルとは。今後の希望を含めて伺う。</p>